

## 令和4年11月定例県議会の概要について

概 要

「一般質問」での教育委員会関係の主な質疑応答

### 堀江 ひとみ 議員

子育て重視の施策について

(1) 学校給食費無償化について

全国的には学校給食費の無償化の動きが広がっている。県内市町の無償化等の状況はどのようになっているのかお尋ねしたい。

(教育長答弁)

現在、県内21市町のうち、学校給食費の保護者負担の一部無償化や一部補助を実施している自治体が5市町ございますが、完全無償化を実施している市町はございません。

学校給食費無償化について、国は自治体の判断で実施できるとの認識を示しているが、県の認識をお尋ねしたい。

(教育長答弁)

学校給食法におきましては、学校給食の食材等に要する経費は保護者の負担とすることと規定されております。

ただ、文部科学省によりますと、設置者の判断により保護者の負担軽減を図ることは可能であるという見解を示しており、県教育委員会としましても、同様の認識を持っているところでございます。

県内の小中学校の学校給食費を無償化する場合の財源規模はどの程度となるのかお尋ねしたい。

(教育長答弁)

公立小中学校における学校給食費の無償化を実施するとした場合、必要となる財政負担額につきましては約46億円が見込まれます。

「子育て重視の施策」として検討する考えはないかお尋ねしたい。

(教育長答弁)

学校給食は、学校給食法の規定に基づきまして、学校の設置者と保護者の経費負担により円滑に実施されるものでありますことから、学校給食費の無償化につきましては、まずは設置者である各市町において適切に判断されるべきものと考えております。

	<p>併せまして、県が市町に対して支援を行うことにつきましては、本県の厳しい財政状況を踏まえやすと困難であると考えております。</p>
--	---